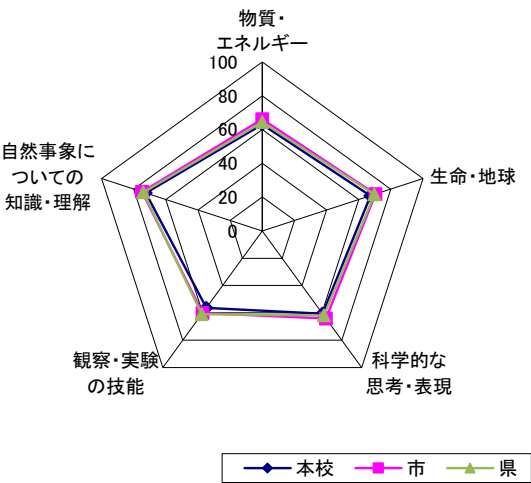


宇都宮市立桜小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	63.0	66.1	64.4
	生命・地球	67.3	70.4	69.8
観点	科学的な思考・表現	60.6	64.1	61.9
	観察・実験の技能	56.4	60.2	61.0
	自然事象についての知識・理解	72.5	74.8	74.0



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	○基礎的内容は定着できている。 ●学んだことを使ってまとめたり考えたりする力が伸びていない傾向にある。 ●学習内容が定着できている児童と定着できていない児童との差が大きい。また、光の性質、電気の通りの道の正答率が低い。	・観察や実験の結果から分かったことを自分の言葉でまとめる活動を授業の中で必ず取り入れるようにする。
生命・地球	○昆虫の体のつくりや育ちの内容については、観察などをして十分理解しており、県や市の正答率を上回っている。 ●自然や自然現象について理由を説明する問題は、正答率が低い。	・学習したことを復習問題等を使って繰り返し学習し、習熟を図る。 ・学習のねらいを明確にして実験・観察に取り組み、振り返りをするという学習サイクルを積み重ねる。